

# 会報 なかさ と

E-mail nakasatokouryusenta@net1.jway.ne.jp

中里学区コミュニティ推進会  
 発行責任者 石川 諒一  
 編集事務局 皆川 汪  
 TEL 0294-70-8005

中里学区人口 現在 H29.4.30  
 世帯数 473  
 総人口 1172  
 男 558 女 614

## 日立市消防団 第7分団新加入者紹介

消防団は、「自らの地域は自らで守る」という郷土愛護の精神に基づき、住民有志により組織された市町村の消防機関です。消防団員は、通常は各自の職業に従事しながら、いざ災害が発生した際には、いち早く現場に駆け付け、火災の消火活動はもちろんの事、地震や風水害等時においては、被害の拡大防止の活動を行います。

私たちの西部地区には、和地進日立市消防副団長のもと、第7分団（福田勝夫分団長以下12名で構成・下深荻町、中深荻町、東河内町の一部担当）、第8分団（東河内町担当）、第9分団（入四間町担当）の3箇分団があり、消防車6台、消防団員42名で編成されています。

第7分団は、詰所（待機場所）が日立消防署西部派出機関の敷地内にあり、車庫を派出機関と共用で、第1日曜日、第3日曜日に定例の車両点検や地区内巡視をおこなっています。

平成29年3月1日に、念願の4駆の新型可搬式ポンプ搭載消防車が入り、万一の災害に備え、機械操作習熟に努めている所です。しかし、団員数は12名と定員18名を大きく下回っている状況にあり、消防団へのご理解とご協力を得て、入団者を募っているところでです。

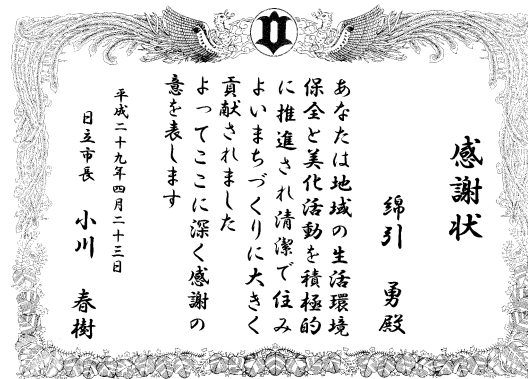
私たちの西部地区では、人口減もあり、身近に人と人との繋がりをもちつ集まり（組織）がなくなっています。消防団は、定例的に集まりを持ち、また、色々な行事があるため、人と人との繋がりをもちつには特に有効であると思います。最近では、地域おこし協力隊として赴任してこられた安瀬正勝さんも入団して頂きました。身近な組織として、もう一度消防団を見直して頂けたら幸いです。

本文は第7分団の草地博文様により投稿



## 綿引 勇さん表彰される

平成29年4月23日（日）の中里学区コミュニティ推進会の総会の席上で、中深荻町の綿引勇（71歳）さんが、日立市副市長横山伸一様により「不法投棄監視員」として、地域の環境保全、美化に貢献したとして、表彰された。特に、中深荻地区は幹線通りから離れており、民家から目の届かない山間が多く大型の電気製品、布団など投棄が多くなって出動回数が多かった。と言っている。自分のゴミを山に捨てても、自然環境が壊れれば同じ事だつぺ。誰も捨てないモラルとシステムが必要だ。



## 平成29年度中里学区コミュニティ推進会総会 横山副市長を迎え開催される

平成29年4月23日（日）中里交流センターにおいて、中里学区コミュニティ推進会総会が行われ石川諒一会長より、28年の総括、29年の活動基本方針が示されました。

総会には日立市副市長横山伸一様はじめ、西部支所長小野崎勉様、中里小・中学校校長鈴木克彦様のご臨席をいただきました。多くの参加者により開催されました。



基本方針説明の石川会長

- 平成28年度総括**
- 1、日立市及び中里学区の状況
  - 2、市役所新庁舎が7月共用開始予定
  - 3、2019茨城国体に向け各種事業を計画準備中
  - 4、中里学区は独自の施策と住民の協力が必要で、高齢化対策で公共交通は、運行範囲の更なる拡大を検討と里川発電所の吊り橋復旧、少子化対策のための特任校の定着支援
  - 5、J A 中里支店の存続の決定が決まった
  - 6、地域おこし隊の渡辺さんの他に安瀬さんも加わり、人を呼び込むイベントの開催・活性化支援と共に情報発信頂いた。
- 推進員さん、ボランティアの方、各都役員様方の各々の仕事の合間をぬっての活動など厳しい環境下でそれぞれの立場で精一杯頑張った頂きご協力のおかげで従来からの事業は継続することが出来ました。
- 平成29年度 基本活動方針**
- 総括の中でも述べているように、急速に進行する少子高齢化を常に念頭において、各専門部の事業及び行事の内容については中里の現状を踏まえ、中里学区にあり手法を進めていくことが大切です。そのためにも、コミュニティ活動を広く理解していただくための

情報発信が大切であり、回覧板情報、広報誌の充実、J・W・A・Y、F・Mひたちの活用、ホームページの充実に努めてまいります。

コミュニティ活動の主体は中里学区住民の方々ですから、地域の人たちが連帯意識を高め、協働しながら、地域総ぐるみで事業や行事を実践していただき、諸問題についても対応を図っていく必要があります。

高齢化対策として公共交通(中里タクシー)の普及を図ってまいりましたが日立市内の病院等への運行範囲の拡大を要望してまいります。少子化対策として4年前から日立市内から中里小学校への転入できる特任校制度を採用しました。今後も継続的にこの制度を普及させ、児童・生徒の安定確保を図っていく必要があります。昨年の年末には増量などを要望しております。昨年の年末には震度5強の地震に襲われ大変心配しました。消防分団や中里駐在所の皆様のご支援ご協力を頂きながら災害・事故・犯罪防止を図ってまいります。

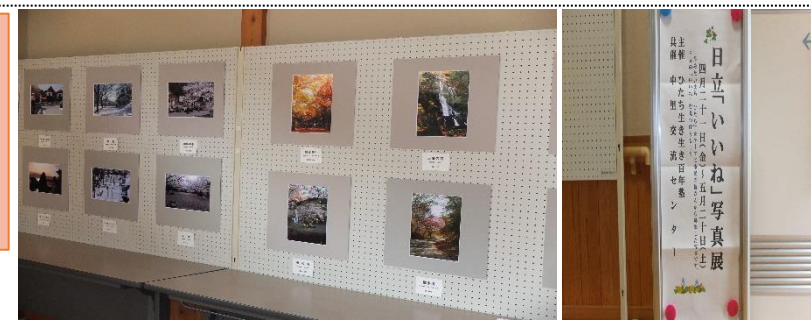
コミュニティ活動は学区の状況変化と共に学区独自の活動が要求される中で担い手不足が顕在化し懸念されます。昨年の総会において組織の一部改定が承認されましたので、今年度から新組織の役員構成、役員選出方法を進めていきたいと思っております。



日立市副市長 横山伸一氏

コミュニティの主活動は、従来からの継続事業や行事の推進であり日常的な活動が大切であり、それに加えて今年度は下記項目を重点テーマに取り組みでまいります。(石川会長挨拶抜粋)

日立「いいね」写真展  
 主催：ひたち生き生き百年塾  
 共催：中里交流センター  
 期間：4月21日～5月20日



ひたち生き生き百年塾の写真展が中里交流センターで、中里学区コミュニティ推進会文化部（大津満夫部長）主催で、日立市内の名所と行事・催し物を撮影した写真を展示中です。自由に見学できますので、交流センター利用の時、または近く立ち寄り時には是非ご鑑賞を！



SNSで中里学区活性化発信(地域おこし協力隊)

地域おこし隊の渡辺 友貴子さんSNS活用で中里を発信、今やパソコンの設置台数よりはるかに多く普及しているスマートフォン、米国のトランプ大統領はツイッターで情報発信していることは皆さん承知の通り。渡辺さんはフェイスブックで中里の情報を全世界に発信、前広報活性部の武藤さんも同じくフェイスブックで中里のリンゴ園バンド演奏活動などを発信しています。バラのオープンガーデンを開いている東河内町の坂本雅史さんも今年からバラの開花状況などを、インスタグラムで発信していくとのこと。中里の自然と澄んだ空、四季の移り変わりを紹介、活性化に繋げていければ更に良い町づくりに貢献できると確信します。

継続発信している渡辺さんの情報を一部紹介します。

【中里が東洋大学の研究フィールドになったよ】

私の母校、東洋大学国際地域学部の授業

「地域活動実習」Ⅱ S.F.S (Student-led Field Study) 前期国内研修の受け入れを日立市中里地区で開始しました。



私の代で初めて行った「能登ゼミ」このゼミ活動をきっかけに私は地域研究の魅力に目覚め、地域で働き、生きることを決めました。(一応ゼミ長だったんだよ)

「能登ゼミ」をベースに正課授業として実施されるS.F.Sの受け入れを私が、そして中里で出来るなんて・・・もうなんて感慨深いの・・・今回は6月に行うフィールドワークに向けた全体研修。日立市とは、中里とは。私たちの活動やミッションとは。まずは研究に必要な基礎

第二の人生 奥さんと共にガーデニング作りとそば栽培

過去173号では、日立市内から通い下深荻町でイチゴづくりをしている成田芳大さんを紹介しましたが、今回は下深荻町の岡町地区に、日立市内からほぼ毎日通い手造りのガーデニングと蕎麦野菜の栽培を行っている斉藤孝一さんを紹介します

斉藤さんは、日立市の消防署員として町の防災に携わる仕事をしながら、休日は「野球少年団」の指導者としても活躍、中里の會澤翼君(現広島カープで活躍中)とも接点があったそうです。現役時代はなかなか家庭にいる時間が取れない生活をしてきたそうで、定年後は、そのお返しとして奥さんの趣味の「蕎麦作り」をしたいと思い、候補地探しをして岡城地区に譲ってもらいという土地があり決断。蕎麦作りをメインにガーデニングを始め、理想は、この土地で蕎麦を栽培、製粉し、蕎麦の試食会を行うことだそうです。



バラ40本が間もなく咲く



秋蕎麦をここに蒔きます

この季節は、ガーデニングの作業が主、バラを約40本植え、満天星つじも白い鈴形の花が咲き、種々な植物が彩っていました。家族でバベキュウ、ビザづくりも可能というから本格的です。ここで作業して近所の人が気軽に声をかけてくれ、また堆肥を持ってきて農作業を教えてください、よそ者感覚でなく楽しめるのが一番！と言ってくれたのが印象的であった。

平成29年度の専門委員は、下記のとおりです。連絡・相談などお気軽にどうぞ！

Table with columns: 役職, 氏名, 備考. Lists various committees and their members for the 29th fiscal year.

平成29年度 中里学区選出の各種委員は下記の通りに決定しました。

Table listing various committees and their members for the 29th fiscal year, including 土木委員, 不法投棄監視委員, etc.

石川会長 殿
日頃は、会長はじめスタッフ一同、中里地区の活性化に、ご尽力いただき御礼を申し上げます。
地区の一住民としての感謝の意を表して、まことに些少ではありますが、何かのお役に立てれば、幸甚に存じます。
平成29年1月 匿名希望

農産物の試食と、散策を中里で40名位で行いました。



研究のお勉強。その後は実際に歩いて、見て、聞いて、体験して、現場を知る。楽しみながら(＊重要、研究に向けての感覚がつかめていたら嬉しい。日帰りでのような事前研修も行える茨城の立地が、大きな武器だと思う。きっと、学生たちはそれぞれいろいろなことを感じ、持ち帰ってくれたでしょう！
とりあえず、6月にまた会えるのが楽しみだー！



今年も匿名で善意の寄付を4年連続で頂きました。
今年で4年連続で匿名にて、コミュニティ推進会の石川会長宛てに郵送されました。本年のコミュニティ総会の席上でも説明いたしました。
中里学区コミュニティ推進会
会長 石川 諒一